

秋田大学 高等教育グローバルセンターニュースレター

Vol.5
2021.9

GLOBAL CENTER FOR HIGHER EDUCATION NEWSLETTER

巻頭言



高等教育グローバルセンター長
後藤 猛

大学での学びは、自ら課題を発見し、創造性を発揮しながら時に他者と協働して課題の解決に取り組むこと、そして真理を追求すること、そのために必要な知識や技能を修得することです。さらに、そのような学びの態度を身につけることも学修の重要な要素です。高等教育グローバルセンター（GHE）は、全学の教養基礎教育を通して学生の皆さんの学びをサポートしています。

一方、社会のグローバル化への対応やSDGsへの取り組みに向けて、異文化・多文化理解、国際性を深めることも益々重要になっています。学生の皆さんには留学に挑戦することを特にお勧めしたいと思います。東京オリンピック・パラリンピック2020が開催され、来日したアスリートや関係者が日本文化や慣習に触れて驚き感動したこと等がSNSで発信され話題になりました。日本では当たり前のことも、海外ではそうではないことが多々あります。留学は、外から母国を、そして自分を見つめる良い機会になります。その後の生き方にも大きく影響するかもしれません。今はコロナ禍のため通常の活動が制限されたり止まったりしていますが、コロナ収束後に直ぐに行動に移せるよう、語学力を鍛えるなど、できるところから進めてみませんか。GHEは学生の皆さんの留学や国際交流も支援しています。

教育開発部門長 就任挨拶

4月から教育活動部門長に就任しました、医学部保健学科の安藤秀明です。これまで、部門員としてはFD・SDワークショップに受講者あるいはファシリテーターとして参加、また、ICT活用教育のため、WebClass活用を推進して参りました。学部内では、シミュレーション教育、アクティブラーニング推進を行っています。これらの経験をもとに、当該部門の課題として、全学的ICT活用を促進向上したいと考えております。コロナ禍により、ICT活用による教育はかなり進みました。しかし、これは、必要に迫られて普及したものであり、これからこの質向上を図ってゆく必要があります。コロナ禍後のニューノーマル社会における、より効率的かつ効果的な教育法を模索していきます。

さらに、大学の国際化のため、英語力の向上のためのシステム構築提案や全学共通の学士課程教育内容の改善・充実のための調査も本部門の担当となりますので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。



教育開発部門長
安藤 秀明



秋田大学 大学間国際交流協定の締結について

2021年3月～2021年7月までに、秋田大学では新規に3校との間で大学間国際交流協定を締結しました。

■【大学間国際交流協定】を締結

タジキスタン鉱山冶金大学(タジキスタン) 締結日：2021/3/12

カヤーニ応用科学大学(フィンランド) 締結日：2021/3/24

ナザルバエフ大学(カザフスタン) 締結日：2021/5/11

協定校の情報は随時大学HPにて更新していますのでご確認ください。

URL：https://www.akita-u.ac.jp/honbu/inter/in_pratnership.html



ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 ヴァーチャル留学

2021年2月1日から3月31日に、イタリアのヴェネツィア・カ・フォスカリ大学で、ヴァーチャル留学が実施されました。ヴァーチャル留学では、チャットやZOOMなどのオンラインツールを駆使しながら、複言語（日本語、英語、イタリア語等）で、SDGs（Sustainable Development Goals [持続可能な開発目標]）のテーマについて議論しました。

以下にその成果の一部が公開されています。

URL：<https://nolbrick.wordpress.com/>



日本からは、15大学が参加し、秋田大学からは、12名の学生が参加しました。

(高等教育グローバルセンター 准教授 市嶋典子)

参加学生体験談

国際資源学部 国際資源学科 資源政策コース 2年次 三春凜佳

今回、ヴァーチャル留学でヴェネツィア・カ・フォスカリ大学の日本語授業に参加し、学生達と「ジェンダー」というテーマでディスカッションをしました。イタリアではジェンダー問題に対する積極的な取り組みが行われていると思っていましたが、カ・フォスカリ大学の学生は「決してそのようなことはない、もっと取り組むべきだ。」と話してくれました。また、自身の性への意識をオープンに話していた参加者もいました。彼らの感じるありのままの考えや意見を伝えることができるコミュニティがイタリアにあるのだと感ずることができました。

今回の貴重な体験を通して、深い学びができ、一層日本の時事問題に関心を持つようになりました。そして、何よりイタリアに多くの友人ができたことは、私にとって大きな財産となりました。数か月たった現在も学生達とメッセージのやり取りをしています。

最後に、カ・フォスカリ大学の学生は日本についてとても興味を持っています。一緒に楽しむことで最高の経験ができます。皆さんもぜひ参加して素敵な思い出を作ってください！

国際交流イベント「ZOOM UP! MEET UP! -多言語で話そう-」

「ZOOM UP! MEET UP! -多言語で話そう-」は、様々な言語によってコミュニケーションをとるオンライン国際交流イベントです。GHEの主催により、2021年の4～7月に月1回開催され、延べ29名の学生が参加しました。次回開催の際には、a・netにて告知しますので、留学や国際交流に関心のある方はぜひご参加ください。

参加学生の感想

国際資源学部 国際資源学科 資源地球科学
コース 1年次
大泉 優剛

ZOOM UP!MEET UP!では様々な国出身の学生と交流することができました。私が参加した回では、与えられたり学生たちで設定したいくつかのテーマについて話し合いました。たとえば「自国の好きな料理」や「最近撮った写真」などです。異なる文化をその国の人から聞いたこと、また同じテーマに対していろいろな見方があったことが面白かったです。

人とのコミュニケーションが少なくなっている中、こうして異文化交流することができる機会を得ることができよかったです。このようなイベントがあったら積極的に参加していきたいと思います。

参加学生の感想

医学系研究科 修士課程 医科学専攻
1年次
Samuel Bamfo
(サミュエル バンフォ)

ZOOM UP! MEET UP! is an awesome program. With the opportunity to speak to people from different countries, and even different zones within Japan, I feel like I am able to get in touch with different parts of the world at a time. At the start, everyone wishes to speak, but since we are all "strangers", no one knows who to speak first. Hahahaa... Interestingly, we have so much fun chatting, we barely feel time pass.

Moreover, seeing non-Japanese speaking Japanese language, and Japanese nationals speaking foreign languages, I get motivated to keep learning the Japanese language.

I am grateful for the opportunity to join this amazing event and I'm very much looking forward to the next event.

Thank you.



秋田大学海外留学説明会

2021年5月31日（月）、オンラインで留学説明会が行われました。

全世界における新型コロナウイルス感染症拡大により、海外への渡航は依然として困難な状況ではありますが、数年先を見据えた留学計画が立てられるよう、本学学生を対象に、秋田大学交換留学制度・トビタテ！留学JAPAN・海外短期研修・イングリッシュマラソンの説明を行いました。

また、海外留学体験者を交えた座談会を実施しました。

説明会資料及び留学体験学生による説明動画は下記QRコードよりご覧いただけます。



説明会資料

https://www.akita-u.ac.jp/honbu/inter/pdf_meeting/r3_0531.pdf



留学体験学生による説明動画

https://youtube.com/playlist?list=PLopBC5rPfc30ay0XvU_g3wHLfBYo0Ck7z

オンライン留学については随時A・netでもご案内しているのでご確認ください。後期にもオンライン説明会を開催予定です。



令和2年度 秋田大学 教養基礎教育優秀授業奨励賞

高等教育グローバルセンターでは、教養基礎教育科目の授業評価（総括的）において、学生からの評価が特に高い上位3名を優秀授業奨励賞受賞者として、年に1度表彰しています。

令和2年度 秋田大学教養基礎教育優秀授業奨励賞を受賞された3名の先生方に「授業における工夫」、「授業の狙い・考え方」、「学生に対する思い」を授業の概要とともに伺いました。

受賞教員

教授 石井 照久
(教育文化学部)

「ライフサイエンス—生命の連続性—」（2単位、全学部生対象）では、毎回、最新のライフサイエンス分野のニュースを紹介・解説しています。ここ2年は新型コロナウイルス関連を扱うことが多いのですが、iPS細胞関連も扱います。

本授業を通して学生は、最新のライフサイエンスの潮流を知るとともに、知識を基盤として思考・意見を構築する大切さを体得します。2018年から学生による意見交換・発表会を5回実施しています。これを始めてから授業評価の結果がとてよくなりました。一方的でない、学ぶ側が主体となる授業が望まれていたのが分かります。

その他の細かい授業での工夫については、『秋田大学高等教育グローバルセンター紀要』第2号（2021年3月発行）をご参照いただければ幸いです。

受賞教員

教授 大橋 純一
(教育文化学部)

私は専門分野（日本語学）から、授業で言葉の問題を扱うことが必須ですが、概論的な知識だけではなく、慣例とは異なる視点でその問題を捉える仕掛けを用意するようにしています。

たとえば言葉は伝達を旨としますが、道案内において、言語情報以上に地図等の視覚情報が事実の認識に役立つことの意味を考えます。またaの「怒っていないよ」の発言がbには「怒っている」と受け取られる理屈を、いわゆるパラ言語と呼ばれる視点から見つめ直したりもします。つまり学びの動機づけを身近な言葉に即して促し、その切り口から見える言葉の何故や不思議を学生と一緒に考えていくというものです。

学生のリアクションには彼らならではの発想が垣間見られ、私自身、はっとさせられることが少なくありません。今後とともに学び、ともに考える授業を模索していきたいと思っています。

受賞教員

准教授 羽田 朝子
(教育文化学部)

私が担当する教養基礎教育科目は「中国語Ⅱ」です。中国語の入門として、基本文法の体系的な習得のほか、音読や会話の練習にも力を入れています。最終的には簡単なコミュニケーションができるレベルの語学力を身につけてもらうことを目指しています。

また語学の習得を通じて現代中国への理解を深めることも不可欠だと考えています。そのため授業では毎回5分程度の映像資料を鑑賞してもらい、中国の時事ニュースや文化に触れる機会を設けています。

昨年度は新型コロナの感染予防の観点から、文法解説など講義の部分についてはオンデマンド教材を作成して視聴してもらいました。対面での授業ではできる限り発音や会話の練習を行いました。限られた条件の中で学生の皆さんは実に主体的に取り組み、例年と同等の力を身につけたと思います。今後とともに学んでいきたいと思っています。



専任教員からひとこと

高等教育グローバルセンター
講師 吉沢 文武

「大学で学んでほしいふたつのこと」

主に倫理学に関する科目を担当しています。私はいつも授業で、倫理は身近だということを強調します。倫理学の主題は、「すべき」や「許されない」などの表現で言われる、馴染みの価値判断です。そうした規範的な価値判断は、どのような根拠や論理が適切かといった基本を押さえれば、論証を組み立てたり、既存の規則を批判的に検討したり、自力でそれなりに思考できるようになります。

他方で、授業では、生きた学問としての倫理学の知見を紹介することも大事にしています。大学で学ぶこと背景には膨大な学術研究があり、自分が未だ知らない、分からないことの規模が圧倒的であることに、早い段階で気づいてほしいと思っています。

日々のなかで、裏づけのない、吟味されてもない意見に触れることがあります。そうした意見を鵜呑みにしたり発信したりしないように、大学で学ぶなかで、自由に豊かな思考力と、知的な謙虚さの両方を養ってほしいと願っています。

秋田大学
国際交流関連データ

■国際交流協定校数（2021年7月1日現在）
大学間協定（33カ国・地域67大学）
部局間協定（19カ国・地域31学部等）

■留学生数（2021年5月1日現在）
学部生 104名
大学院生 90名
交換留学生・研究生等 20名
合計 214名



編集・発行：

国立大学法人 秋田大学 高等教育グローバルセンター

連絡先：国際課（国際交流部門事務担当）

TEL：018-889-2870 E-MAIL：kokusai@jimu.akita-u.ac.jp

総合学務課（教育活動部門・教育開発部門事務担当）

TEL：018-889-3192 E-MAIL：kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp